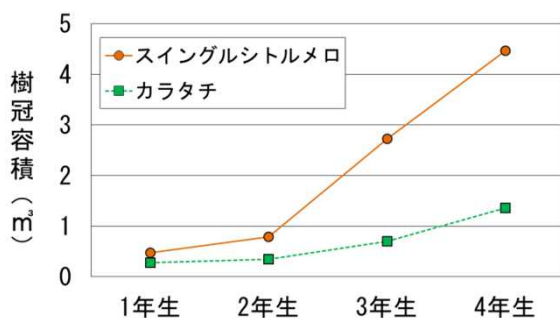


# 強勢台木で極早生温州「ゆら早生」は 早期安定生産が可能

【背景・目的・成果】 淡路地域で導入が進んでいる極早生温州「ゆら早生」は、一般的なカラタチ台苗木を植栽した場合、幼木期の生育が緩慢となり結実開始後に樹勢が弱まる傾向がありました。そこで「シングルシトルメロ」を強勢台木として利用した場合、カラタチ台に比べクエン酸含量が低下しやすく早採りが可能であるとともに、早期樹冠拡大が可能で初期収量も多くなり、早期安定生産に有利であることが明らかになりました。



「ゆら早生」の果実



樹冠容積はカラタチ台に比べシングルシトルメロ台の方が、4年生時で3.3倍大きくなった。



早期樹冠拡大が可能で樹勢強化につながる！

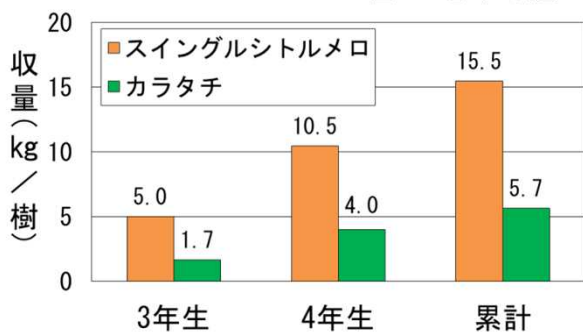


図2 台木の違いと収量



シングルシトルメロ台



カラタチ台

収量はシングルシトルメロ台の方がカラタチ台に比べ、3年生時では2.9倍、4年生時では2.6倍多く、累計では2.7倍多かった。



定植後の収量が多くなり早期安定生産に有利！

表 台木の違いが果実品質に及ぼす影響

台木	糖度 (Brix)		クエン酸含量 (%)	
	3年生	4年生	3年生	4年生
シングルシトルメロ	9.8	10.3	0.64	0.63
カラタチ	9.6	10.5	0.75	0.75

糖度 (Brix) に差は無かったが、クエン酸含量はシングルシトルメロ台の方が低くなる傾向があった。



減酸が早く収穫期が従来に比べ早くなる！

【技術の活用】 樹勢が強まることから、間引きせん定を中心とした従来より弱いせん定を行うことで、着花を安定的に確保することができ、初期収量を確保することができます。